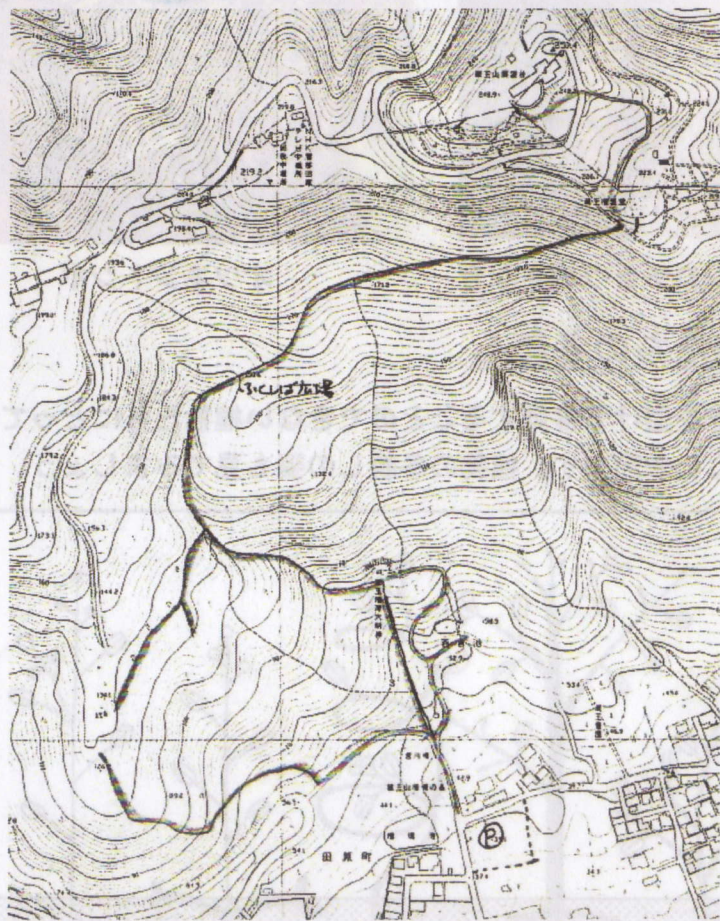


蔵王山の登山コース



自然保護憲章

- ・自然をとつとび、自然を愛し、自然に親しもう。
- ・自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう。
- ・美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

昭和49年6月5日制定

(参考文献:日浦 勇著「自然観察入門」中公新書)(写真引用文献①海野和男「はっけんずかん むし」学研、②北添伸夫「自然の観察事典 モンシロチョウ」偕成社)(参考サイト:<http://hitohaku.jp/news/docs/hm33-4.html>)

2005年 定例自然観察会

蔵王山・権現の森の自然観察



ナミテントウの集団越冬

12月11日(第10回)

主催:NPO法人東三河自然観察会
後援:田原市・田原市教育委員会

虫たちの冬越し

冬がやってくると、私たちは、ストーブを出したり、セーターを着たり、マフラーをしたりして冬を暖かく過ごす工夫をします。

虫たちは、どのようにして冬を過ごすのでしょうか？

木の枝、落ち葉の下、石の割れ目などを探してみましょう。

木の皮の下や、土の中で冬越しする虫もいますよ。

冬越しの姿	虫の名前（見つけた所）
卵	
幼虫	
さなぎ	
成虫	



オオカマキリの卵



ミノムシ（オオミノガの幼虫）



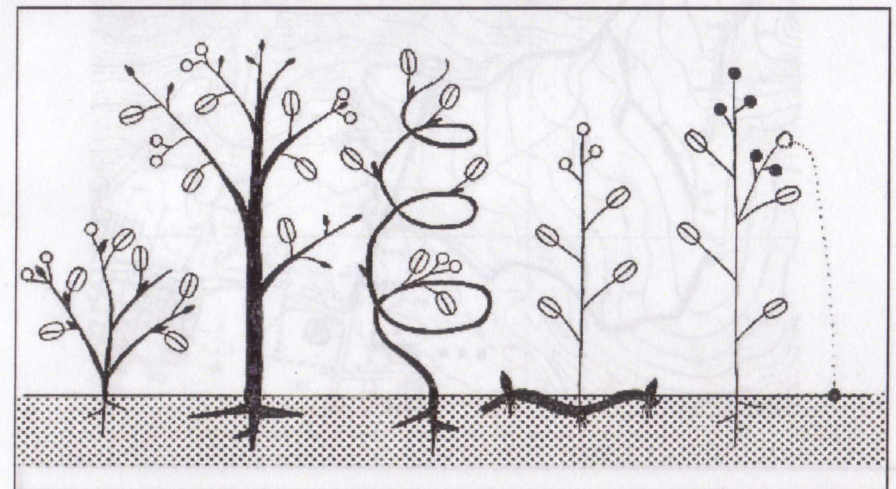
モンシロチョウのさなぎ



オツネントンボ

植物たちの冬越し

寒さを避けて移動することのできない植物たちにとっても、冬は厳しい季節です。植物の冬越しの姿も見てみましょう。



左から低木、高木、ツル植物、多年草、一年草（黒丸が冬芽）
（ラウンキエにもとづく）

落葉樹だけでなく、常緑樹も冬芽を作って寒さに備えています。冬に実を付けたたり、花を咲かせてがんばっている植物もあります。多年草は、種子や果実以外にも、養分を根や茎や葉にたくわえます。また、一年草は種子で冬を過ごすものと、秋に種子から発芽して冬をロゼットで過ごすものがあります。

写真展 財賀寺の動物たち

財賀寺およびその周辺はシイを中心とする照葉樹林、スギ・ヒノキの植林、伐採跡の草地など多様な環境です。そこにニホンザル・ニホンジカ・イノシシ・タヌキ・テンなど多くの野生哺乳類が生息しています。財賀寺境内に定点観察地を設け、彼らの生態を2004.9から1年余にわたりセンサーカメラで追跡しました。

本展ではその記録と以前に撮影した財賀寺に多く生息するムササビの写真を展示します。東三河南部の里山に生息する野生哺乳類の生息実態を知っていただければ幸いです。

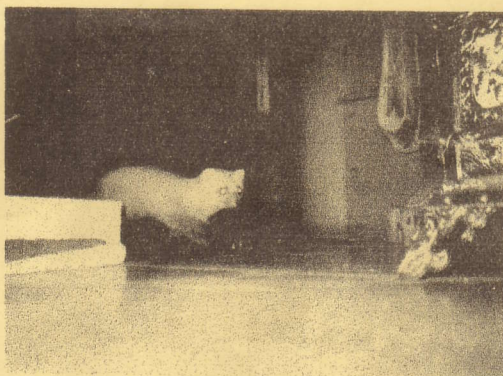
- ◆ 期 間 平成17年12月23日(金)～平成18年1月27日(金)
- ◆ 会 場 財賀寺客殿(ご自由にお上がり下さい)。:豊川市財賀町

フィールドサイン観察会

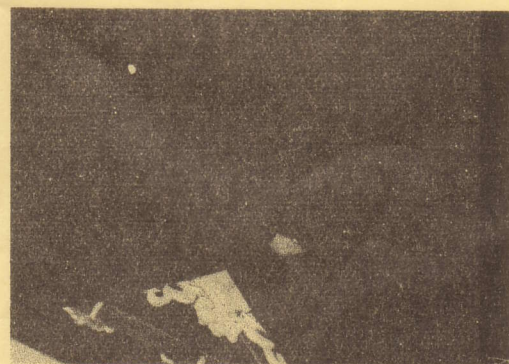
財賀寺境内でフィールドサイン(野生哺乳類の糞、巣、足跡、食痕など)を観察します。

- ◆ 日 時 平成17年12月25日(日)、平成18年1月7日(土)午後1時から約2時間。
その後、ご希望の方にはムササビ観察を行います。各回定員15名で実施。
- ◆ 参加について
参加費無料、要申込み(申込み先は神戸メール kanbe@fine.ocn.ne.jp 又は財賀寺御札授所)
- ◆ 持参するものは、筆記具・あれば双眼鏡。詳しいことは、申込み時にお知らせします。

神戸 敦 : 東三河自然観察会会員



▲ 本堂に現れた冬毛のテン
▼ イノシシの白化(アルビノ)個体



▲ 本堂から滑空するムササビ
▼ 雄のニホンジカ

